

科目名	総合的な探究の時間	単位数	1単位	学年	1年	コース	必修		
教科書	敬天愛人への歩み「敬」のステージ								
副教材・参考書									
授業の到達目標	行事や進路、学問領域についてグループで協働的に調べて発表するサイクルを身に付ける。他の生徒の感じたこと、考えたことを共有する。また、自分の意見を伝えるために必要な発表手法を身につける。建学の精神『敬天愛人』を読み解き、「敬」のステージ『身近な人をハッピーにする』課題解決型プログラム“InageImage”を通じて地域とも連携し、社会の一員として役に立つことを実感する。								
授業内容・進め方	調べて準備し発表する、振り返るということの大切さを理解する。クラスを超えて集まった仲間とともにテーマに向かう、発表する楽しさと、表現するための日本語の大切さを、じっくりわかるように進めていく。また、発表方法の基本の形を身につけていく。								
授業スケジュール	日								
(1学期)	4月	14 <small>(オリエンで1時間実施後)</small>	【1】①導入 なぜ探究活動が必要なのか？①友人のペンケースをデザインして作る						
		21	②友人のペンケースをデザインして作る						
		28	【2】エナジードVol.1 Lesson 00 未来を作る3つの力						
	5月	12	エナジードVol.1 Lesson 01 感覚的に気づく力						
		26	エナジードVol.1 Lesson 02 原因から発案する力						
	6月	2	エナジードVol.1 Lesson 03 巻き込み実現する力						
		16短	【3】①学問系統探究 導入						
		30	②学問系統探究 グループ探究						
	7月	14	③学問系統探究 発表						
	(2学期)	9月	15	【4】“InageImage” ①全体会 (LHR)エナジードVol.2で補強					
			22	②グループ開き (LHR)エナジードVol.2で補強					
29			③協力団体来校しミッションの確認						
10月		6	④グループ探究 (LHR)エナジードVol.2で補強						
		13	⑤ //						
		27	⑥ //						
11月		10	⑦中間発表(協力団体への第一提案)						
		17	⑧グループ探究(協力団体からのフィードバック)						
		24	⑨ //						
12月		1	⑩グループ探究(フィードバックを受けて)						
		15短	⑪ //						
(3学期)	1月	12	⑫発表準備(発表方法と役割確認)						
		19	⑬2学年より1学年へ発表会(4限LHRも)						
		26短	⑭発表準備(発表方法と役割確認)						
	2月	2	⑮ //						
		9	⑯発表練習						
		16	⑰最終発表						
	3月	2	⑱InageImageおよび総合全体振り返り						
備考									

科目名	総合的な探究の時間	単位数	1単位	学年	2年	コース	必修	
教科書	敬天愛人への歩み「天」「愛」のステージ、探究&SDGs、FACTFULNESS							
副教材・参考書								
授業の到達目標	「天」のステージ『自己を律し、目標へ向かう』、「愛」のステージ『今生きている世の中を知る』。稲毛地域の問題を探究し、問題解決を提案する「InageImage II」。その中で気づいたSDGsとの関連から、平和・歴史・文化・産業などのテーマと世界各地の戦争紛争・貧困・宗教対立・民族問題・資源問題を軸に探究し、下の学年にも発表をする。							
授業内容・進め方	「FACTFULNESS」の”チンパンジークイズ”で世界をきちんと見る目を持つきっかけに。学校行事をガイドに、グループで取り組み、他者とのかかわりの中から課題を発見し、アクションを起こす。プレゼンにおいてはどうやったら思った通りに人に伝わるかを意識し進めていく。探究活動の楽しさを味わってもらいたい。							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	14	【1】エナジードVol.1 Lesson 00 未来を作る3つの力					
		21	エナジードVol.1 Lesson 01 感覚的に気づく力					
		28	エナジードVol.1 Lesson 02 原因から発案する力					
	5月	12	エナジードVol.1 Lesson 03 巻き込み実現する力					
		26	【2】グローバルな問題に目を向ける ①世界の貧困・紛争を考えよう					
	6月	2	②SDGsを知ろう					
		16短	③発表準備					
		30	④SDGsについて発表(クラス内)					
	7月	14	⑤振り返り					
	(2学期)	9月	15	⑥フォトジャーナリスト藤原亮司氏講演				
			22	【3】Inage Image II ① 説明、グループ分け、先輩の発表動画を見る (LHR)エナジードVol.2で補強				
29			② インタビューの手法を知る(アイスブレイク)					
10月		6	③ 地域の〇〇の魅力①					
		13	④ 地域の〇〇の魅力②・地域の〇〇の課題点① (LHR)エナジードVol.2で補強					
		27	⑤ 地域の〇〇の課題点② (LHR)エナジードVol.2で補強					
11月		10	⑥ フィールドワーク計画					
		17	⑦ 地域の課題の解決法					
		24	⑧ スライド作成①					
12月		1	⑨ リハーサル					
		15短	(進路ガイダンス)					
(3学期)	1月	12	⑩ 発表準備					
		19	⑪ 1・2年合同発表会					
		26短	⑫ 発表・InageImage II の振り返り					
	2月	2	【4】進路実現に向けて①第一志望宣言書を書くために・志望理由書読み比べ					
		9	② 学問調べ					
		16	③ 大学パンフレット読み比べ					
	3月	2	④ 卒業探究に向けて					
	備考							

科目名	総合的な探究の時間	単位数	1単位	学年	3年	コース	必修
教科書	敬天愛人への歩み「人」のステージ・課題研究メソッド(よりよい探究活動のために)						
副教材・参考書							
授業の到達目標	「人」のステージ『世の中の役に立つ人材になる』。大学で自分が学びたい学問領域から、自らテーマを設定して「卒業探究」とする。大学進学後も、他校から来た学生をリードしていく姿勢を持ってもらいたい。また、他の生徒の研究・発表を正当に批評できる力もつける。探究テーマで残った疑問を持って次の進路に進んでもらいたい。						
授業内容・進め方	「テーマ設定こそが重要でどこまで掘り下げられるか」過去の生徒の事後アンケートでも明らかになっている部分を開始段階で書籍にヒントを求める。探究テーマ設定は卒業後の進路に関する学問的なものとする。個人探究であり、調べ学習に終わらず、問いを立て、アクションを起こし、そこからまた問いを巡らせるサイクルを確立したい。						
授業スケジュール							
(1学期)	4月	14	【1】卒業探究Ⅰ ①ガイダンス				
		21	②「読んだ本について発表しよう」準備				
		28	③「読んだ本について発表しよう」発表1				
	5月	12	④「読んだ本について発表しよう」発表2				
		26	【2】卒業探究Ⅱ ①探究テーマの設定				
	6月	2	②探究テーマの設定				
		16短	③探究テーマ発表1				
		30	④探究テーマ発表2				
	7月	14	⑤夏休みの探究計画(インタビュー・フィールドワーク等)				
(2学期)	9月	15	⑥中間発表				
		22	⑦ 〃				
		29	⑧探究の深化(中間発表と批評を受けて)				
	10月	6	⑨同じような探究テーマの生徒とディスカッション				
		13	⑩発表準備				
		27	⑪ 〃				
	11月	10	⑫最終発表				
		17	⑬ 〃				
		24	⑭ 〃				
	12月	1	⑮ 〃				
		15短	⑯振り返りと今後の展望				
	(3学期)	1月					
2月							
3月							
備考							